

アフリカン・フェスタ アンケート調査報告

2004年5月15/16日実施

アフリカ理解プロジェクト

調査・報告者 岸上有紗

アフリカ理解プロジェクトでは、より多くの人にアフリカを多様性を理解してもらえよう、WEBでの情報提供や教材作り、アフリカに関する活動の支援などに積極的に取り組んでいます。このような活動の一環としてアフリカン・フェスタにおいて、下記のアンケート調査を実施しました。その結果をまとめましたのでご報告致します。情報を共有することで関係者の方々の活動に役立つことができれば幸いです。

目次

1. アンケート調査の背景と目的
2. 調査方法・対象
3. 分析
4. おわりに - 調査を通して分かったこと

1. アンケート調査の背景と目的

「アフリカン・フェスタ」は、外務省主催で毎年開催されているイベントです。この催しを通じて、参加者は何を伝えたいと考えているのでしょうか？来訪者は何を求めて来ているのでしょうか？何を得たのでしょうか？今年で4回目を迎える「アフリカン・フェスタ」という催しが「アフリカ理解促進」にどのような効果を上げているのかを調査し、提言を行うのがこのアンケートの目的です。

2. 調査方法・対象

本調査は、2004年5月15日、16日に開催された「アフリカン・フェスタ」の場で実施しました。調査方法として、A4一枚6項目に分かれたアンケートを作成し、「アフリカ理解プロジェクト」の出展先にて来訪者、出展者に無差別に回答者を募り、調査を行いました。その結果、61名の方から回答を頂きました。尚、アンケート結果がアフリカン・フェスタ全ての参加者・来訪者の意見ではないことは予めご了承下さい。

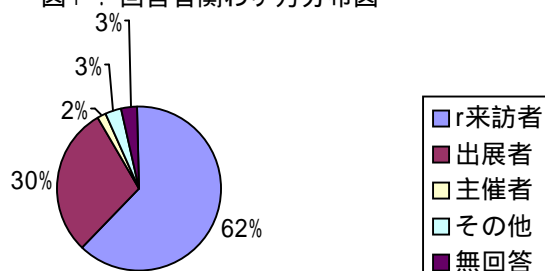
3. 回答者の特徴

3-1 回答者のアフリカン・フェスタへの関わり方

今回のアンケートでは、来訪者、出展者双方の意見を聞くことができました。回収結果より、60人の回答者の内、来訪者は37人と6割以上を占めていました。関係者(出展者・出演者・主催者を含む)は23人で、出展者として回答された方は以下のとおりです。

a)	来訪者	36
b)	出展者	18
c)	主催者	1
d)	その他	2
e)	無回答	2

図1. 回答者関わり方分布図



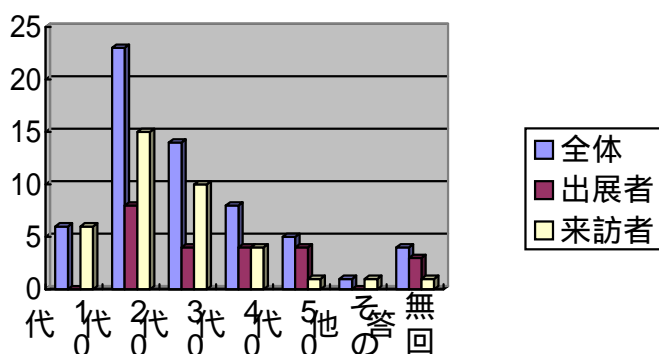
3 - 2 アンケート回答者の年代別分布図

図 1 より、全体的に回答者の多くは 20～30 代であることが分かります。又、表では、各年代の人数とその占める割合を表していますが、10代の来訪者が多く、50代は出展者の方が多いという結果でした。回答者の性別は、女性:25(出展者7人、来訪者18人)、男性:23(出展者11人、来訪者12人)、無回答:13

<表1.>

年代 / 回答者	10代	20代	30代	40代	50代	その他	無回答
全体	6	23	14	8	5	1	4
出展者	0(0%)	8(36%)	4(17%)	4(17%)	4(17%)	0(0%)	3(13%)
来訪者	6(16%)	15(38%)	10(26%)	4(11%)	1(3%)	1(3%)	1(3%)

図2 . 年代別分布図



3 - 3 回答者の職業別分布図

回答者の職業は、全体的に関係者・来訪者ともに学生の数が多かったです。又、関係者では NGO/NPO 関係者、来訪者では会社員が目立ちました。

<表2.>

回答者 / 職業	学生	会社員	公務員	教員	NGO/NPO	自営業	主婦	その他	無回答
全体	17	10	2	2	6	4	6	12	3
出展者	5	2	1	2	5	2	2	3	2
来訪者	12	8	1	0	1	2	4	9	1

図5 . 職業別分布図(関係者)

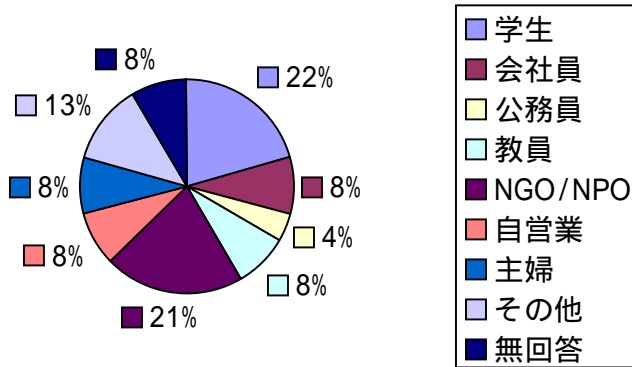
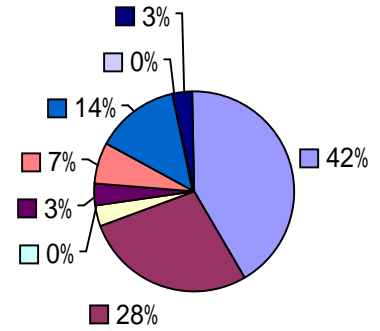


図6 . 職業別分布図(来訪者)



4. 分析

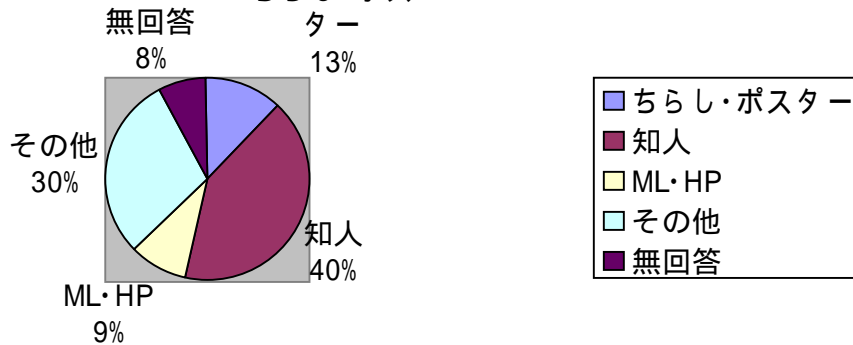
4 - 1「アフリカン・フェスタ」の広報

アフリカン・フェスタについての情報源を聞きました。その結果、全体では知人から聞いた人が最も多く、続いて「その他」でした。来訪者は情報源が比較的ばらついています。関係者は「その他」に偏っていました。「その他」の内容は、以下のとおりです。

関係者：大使館に誘われて・団体が出展するから・初回から知っていた

来訪者：家族・授業・ホテルの窓から見えて・日比谷公園に来て・通りかかった・ラジオ FM 東京・NGOのちらし

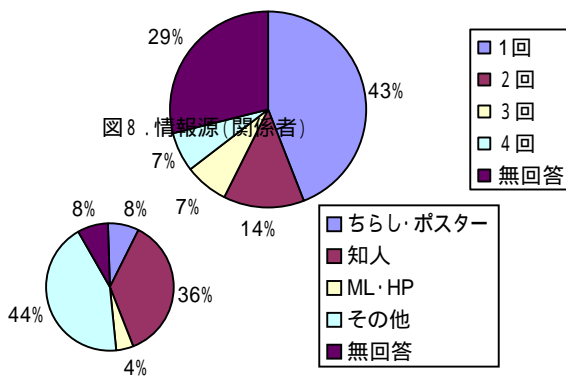
図7.情報源分布図
ちらし・ポスター



4 - 2 参加 / 来訪した回数

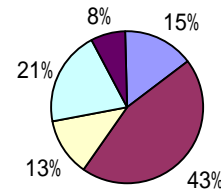
回答者の約半分が、今回「アフリカン・フェスタ」へは、「初めての参加」であることが分かりました。無回答者が多いこの質問は、アンケート実施者(複数)の質問仕方に問題があったと思います。関係者が2～4回参加しているのに対し、来訪者で、複数回参加している人は少なかったようです。

図10 . イベント参加回数(全体)



4 - 3 アフリカン・フェスタへの参加・来訪の目的
 回答者には、さらに今回のイベントに参加した目的を聞きました。関係者は、それぞれが参加している組織・団体の紹介や具体的なプロ

図9 . 情報源(来訪者)



ジェクトの説明や宣伝を目的としていました。それに対して来訪者の方々は、アフリカの音楽・文化・NGO 活動に触れてみたいと情報探しに来た人、アフリカ又は出展者に知り合いがいて興味があった人、たまたま遊びに来た人など、その目的は様々でした。詳細は以下の通りです。

<表3>

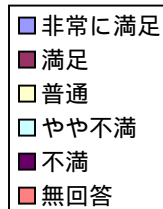
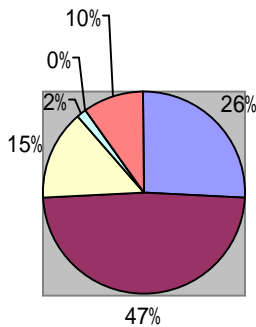
関係者	来訪者
団体紹介のため	アフリカの音楽に触れたい
組織の理解を深めていただくため	アフリカ文化に興味あるので
ワークショップを行うため	知り合いの方が出演しているのでx2
ワークキャンプの普及	途上国に友達がいるから興味があって
今年のアフリカン・フェスタのキーワード“ジンベ”“バオバブ”、“アフリカの森にジンベの木を返そう”のメッセージを広げるため	何かボランティアで活動してみたくて、探しに来た
アフリカ協力ブースの応援者として	昔を思い出したかったので
ジョイセフのプロジェクト紹介(展示販売)	なんとなく
ファッションショーの出演	出展者に会うため
活動紹介	NGOの活動を勉強するため

	アフリカで活動するNGOをみたい
	前回までは出展者として団体の活動紹介をしていたので×2
	日本において、アフリカがどの程度関心をもたれているのか、実感してみたかった
	アフリカに対して、ほとんど知識も関心も無かったが、友達に誘われたので行くことにした

4 - 4 アフリカン・フェスタへの満足度

アフリカン・フェスタへの満足度は高く、「非常に満足」「満足」と回答された人がほとんどでした。「やや不満」「不満」と回答された方は来訪者・関係者合わせて一人でした。図より、来訪者の方が関係者の方より、やや評価が低かったことが伺えます。「またアフリカン・フェスタに参加/来訪したいですか?」という問いに対し、はい:58(関係者22、来訪者36)、いいえ:0、無回答:2(関係者・来訪者ともに1)という結果が得られました。

図1 3 . 満足度分布図



非常に満足	16
満足	30
普通	9
やや不満	1
不満	0
無回答	6(まだ周っていない)

図1 4 . イベントの満足度(関係者)

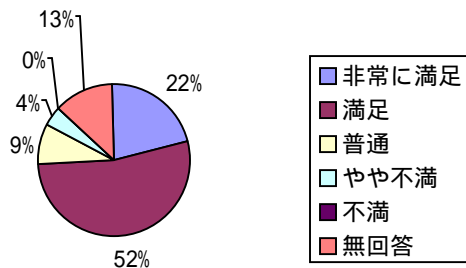
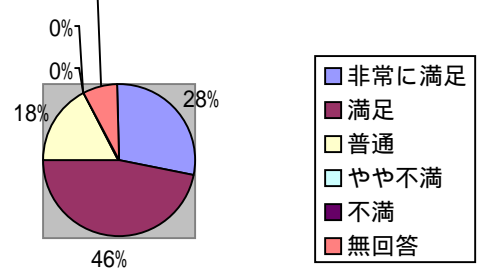


図1 5 イベント満足度(来訪者)



4 - 5アフリカン・フェスタの良かった点

アフリカン・フェスタの良かった点を聞いたところ、以下のような結果が得られました。音楽、食べ物、アクセサリーなどの物販への満足度は高かったようです。関係者は予想以上に来訪者が多かったことを喜び、一方では来訪者は充実した出展に満足していたようです。又、関係者・来訪者ともに、これまでのアフリカン・フェスタに比べてイベントの内容が充実し、回数を重ねるごとにフェスタの進行自体が良くなっているというような意見も見られました。関係者の方は自分の出展に忙しいせい、大使館ブースに対する意見はありませんでしたが、来訪者はそれぞれの国の特徴を聞くことができ満足できたようです。

<表4.>

項目	関係者	来訪者
食事・ライブへの反応	音楽があふれている	コンサートが充実している
		ダンス・ミュージックが楽しめた
		食べ物があって良かった
		料理の種類も量も増えた
		ランチ・プレートが安かった
販売へ・展示への反応	充実したスタディ・ツアーの内容が見られた	アクセサリーがあって良かった
	たくさんの人たちが訪問してくれた	予想以上に楽しいグッズが置いてあるお店が多くて、にぎやかに楽しめた
	たくさんのお店の見られて良かった	お店がたくさん出ていて、見栄えがした
全体的な反応	アフリカを楽しめる	目的が達成できている
	初回からノウハウが蓄積されて良くなっている	雰囲気が素敵

	会場全体が生き生きとしていた	5月という時期が良い
	来訪者が多い	今までより人が多かった。
		今年は広報が速かった
		アフリカに関心を持っている人が一杯いる事が分かって良かった
		すごくアフリカに興味を沸いてきた
		様々なサポートする団体があるのを知り、若い方々の活躍を頼もしく思った
		アフリカの生活の紹介が良い
大使館ブースへの反応		本国の方々の話が聞けた
		各大使館の展示で、その国の政治や民族の暮らしについてたくさん話が聞けた
		たくさんアフリカの国々のブースが設けられていた

4 - 6 アフリカン・フェスタの改善点

来訪者・関係者双方の意見より、以下のような改善点が挙げられました。

<ブースの広さ>

もっと広い会場／スペースが欲しい。これは大使館ブースも、NGOブースも、共通に出された意見でした。又、周っている来訪者の方も、各国ブースが近すぎてどこからどこまでがどの国であるかわかりにくいなどの意見が出されていました。

<ブースと地図>

ブースごとに各国の地図を描き、その国がどの位置にあるか分かりやすくしたらどうか、という提案は複数聞くことができました。又、一つ一つの国がどんな様子なのか、又各団体がどのような活動をしているのか、じっくり知ることができればさらに楽しい、との回答がありました。出展者側の今後の課題の一つであると思います。

<天候について>

二日目には雨が降ってしまったため、改善点に「雨。天気」と書かれる方が多かったです。雨自体はどうにもできませんが、雨天の際に一時的に雨宿りできるような場所がないのは、来訪者にとって不便です。悪天候の際の事前対策を練ることが課題の一つであると思います。

<ワークショップについて>

「ワークショップの時間が短いので、出入りなしで一時間半ぐらいはやってみたい」「NGO主催のワークショップの機会を作って欲しい。」などと、ワークショップにもっと積極的に取り組みたい様子が伺えます。

<その他の意見>

「“観光客のため”と言う感じがした。もっと市民の生活の一面が見たい。」「写真とか音楽を聞く場がもっと広いとよい。」「アフリカ原産の花の販売も良いと思う。」「楽しむことから、来年はもう一歩だけ踏み込んで、ジンベに使われる木の再生にも思いを馳せられる場が欲しい。」「電気が有料だったのは少しびっくりした。」「活動紹介と紙芝居上演をパワーポイントを使ってやったが、パワーポイントは場に合わなかった。当事者側の工夫が必要。」「もっとアフリカから文化団体(踊りなど)を支援して呼んで欲しい。」「物品が売れなかった。」

4 - 7 「アフリカ」のイメージ

アフリカ関係のイベントでの定番、しかし難しい質問として、アフリカへの回答者のイメージを聞きました。調査者として意外だったのは、そのイメージの大半がポジティブなものであったことです。「多様で豊かな音楽・文化」「スケールの大きい自然と大地」「人柄の良さとエネルギー」「アフリカ独特のテンポ・雰囲気」に属するイメージが多くありました。以下がその詳細です。

<表5. アフリカに対するイメージ>

項目	関係者	来訪者
大地・自然	大きな大陸 大変良い土地 自然	大地 大自然×2 自然の大地

	太陽 風 緑	サバンナ サハラ砂漠 赤土 雄大 広い×2 内陸 暑い 美しい
多様性・文化・芸術	多文化 音楽	多様である×4 色々な文化が混在している 音楽×2 独自の音楽 リズムカル 民族のデザインの豊かさ いろんな色を使った衣服
人の明るさ	人々の笑顔 生き生きしている	にぎやか 人柄が良く、陽気×2 パワフル おしゃれ 気持ちが暖かい 感情が豊か 人のノリの良さ 人の明るさ とても良く声をかけてくれる 人々の笑顔
雰囲気	エネルギー 明るい ダイナミック ポレポレ	ポレポレ×2 楽しい 面白い×2 夢がある 優しい
その他	何度も行ったから「イメージ」というより 実際のもの 第二の故郷 面白い 自分のルーツ	きっと向上していく地域 第二の故郷 ブラック・神秘 植民地の影響を受けてそう 歴史的に深い ボナ

マイナス・イメージ	誤解されている、断片的にしか知られていない 女性の地位が低い	開発途上国 差別されているイメージ
-----------	-----------------------------------	----------------------

4 - 8 アフリカン・フェスタに参加/来訪後のイメージの変化

アフリカン・フェスタに参加/来訪したことで、どのようにイメージが変化したが、又はしていないかについて聞きました。その結果は来訪者・関係者ともに約3分の1の人が変化したと答え、半分の人が変化しないと答えたと答えた。変化しないと答えた方の中には、自分がアフリカ出身である、又はアフリカに何度も足を運んだことがある、という意見が述べられていました。イメージが変わった人の意見は以下のとおりです。

図16. 「アフリカ」に対するイメージの変化

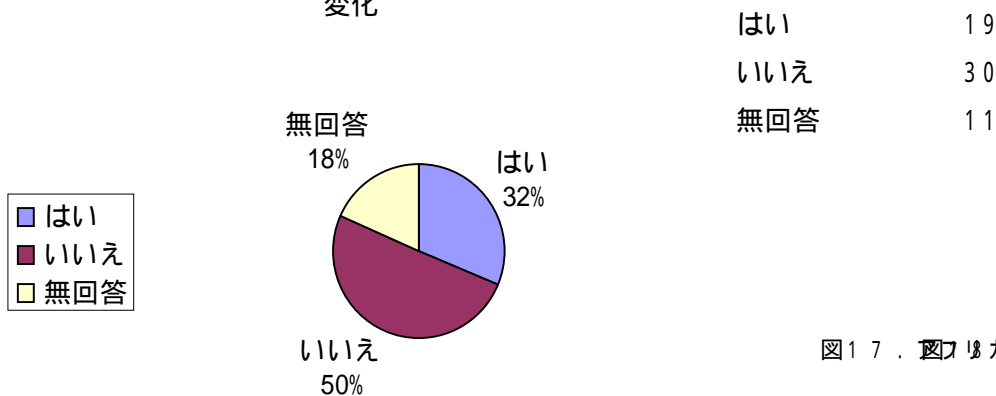
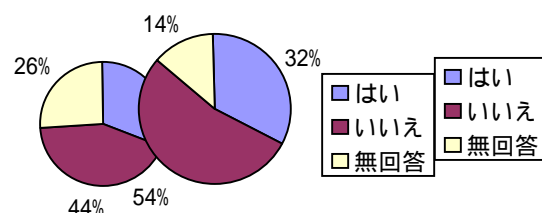


図17. アフリカ人の印象(来訪者)



<表6 はいの意見>

関係者	来訪者
きっと向上していく地域	貧困だけ見てはいけないし、逆に美しい所だけで見てはいけない
一言でアフリカといっても色々な文化がある	今まで“内陸”っぽいイメージだったけど、今日来ているんな面があると感じました
活気あふれるアフリカ	都会的な部分もありますね！
おしゃれ	凄く優しかった
関心のある日本人が多くてびっくりした	イメージがよくなった

	以前は「アフリカ」という一つのイメージで考えていたが、今ではアフリカには多くの民族があり、それぞれの違いを認識して、アフリカを語る必要があると感じている。アフリカは多様な人々が暮らしているが、環境破壊、貧困、HIV、内戦など、各国に共通または、国を超えている問題が存在する事を知った
	各国ごとに特色があることという事が分かってきた
	深いのもっと知りたくなった

5 おわりに 調査を通して分かったこと

回答者の多くは知人を通して「アフリカン・フェスタ」の存在を知り参加したという集計結果から、集客にはアフリカ関連団体のネットワークが強く影響していることが分かりました。前回に比べ、一般参加者が増えているとはいえ、「窓から見えたから参加した」「たまたま通りかかった」という偶発的な回答も複数あり、主催者側による広報戦略の改善で、さらに集客数を拡大することが可能と考えます。

マスコミなどで報道される情報が「貧困」などの負の部分に偏っているなか、「アフリカン・フェスタ」の来訪者が、肯定的なイメージをアフリカに対して持っている、あるいは持ったことが分かりました。フェスティバルの内容では、来訪者に音楽、食べ物、アクセサリーなどの物販の満足度は高く、N G Oによるアフリカでの活動やワークショップに関心を示し、さらなる充実を希望する声がありました。調査では、内容改善のための意見も多く寄せられました。主催者に対しては、ブースの広さ、各国紹介の工夫、雨天時の考慮、ワークショップ開催の方法などが、改善点として挙げられています。

調査者は 2003 年にもフェスタに参加していますが、「関係者が集まって楽しんでいる」という印象が強かった前回に比べ、各ブースの出展者が積極的に来訪者に声をかけるなど、出展者側の姿勢の変化が感じられました。来訪者の裾野を広げるための広報戦略、多様な来訪者に合わせた多様な企画、会場の工夫など、主催者や出展者が知恵を出し合うことにより、フェスタへの一般参加者の数が増え、アフリカ理解が促進されことを期待しています。